令和４年度　江戸川区立東小松川小学校　学校関係者評価　最終評価用報告書

学校教育目標	ひがこまっ子は　みんななかよし　夢がある ○思いやりのある子　○考える子 ○やりぬく子　○じょうぶな子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	・子供の主体的な学習力を高められる学校 ・教職員が子供の目指すべき社会人であり、教育者である学校 ・地域・保護者すべての人と人とのつながりを大切にする学校
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞ 感染症対応を十分に図りながら適宜教育計画を変更・実施4することができた。感染状況に応じながら開校80周年記念式典や関係行事を滞りなく実施でき、皆で喜びあえた。新校舎建設のための仮校舎移転を計画的に実施できた。 ＜課題＞ 制限ある仮校舎生活での安全・安心な学校生活の維持と各種の教育活動の保証。　適切な感染症対応を図りながらも、さらに充実した創意・工夫した教育活動の実施とタブレットによるオンライン学習や公開の効果的な実施。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価 取組	自己評価 成果	自己評価 成果と課題	学校関係者評価 評価	学校関係者評価 コメント	来年度に向けた改善策
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	○7つの主な事業(取組)に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実として ・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実 ・教科担任制の導入	・教員相互の授業観察と改善 ・補習学習の実施 ・東京ベーシックドリルの活用 ・第6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の実施 ・タブレット等のICT機器の効果的な学習活用と教員研修の実施	教職員評価アンケート達成 90%以上	B	A	・補習学習などにも取り組んでもらえている。 ・ICT等の活用を目にします。ICTやタブレットの発表会（活用実演） ・Web配信授業を初めて見ました。 ・コロナ・インフルエンザなど感染症対策を行っている中での対応として、できることはなされていると思われる。	A	・補習学習などにも取り組んでもらえている。 ・ICT等の活用を目にします。ICTやタブレットの発表会（活用実演） ・Web配信授業を初めて見ました。 ・コロナ・インフルエンザなど感染症対策を行っている中での対応として、できることはなされていると思われる。	・第6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導を行い、教員相互の指導力向上が図れた。来年度は5・6年生で教科担任制を実施。 ・タブレット等のICT機器を学習活用できた。今後もさらに活用法を模索する。タブレット端末とノート表記等の状況に応じた使い分けを図れている。 ・欠席児童等にもウェブ配信で授業提供することができた。
	体力の向上	○「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実 ・休み時間を活用した「運動遊び」の全校指導 ・体育科指導の充実	・体力向上のためのウッキウキタイムの実施 ・近隣スポーツ公園、公園を活用した体育学習や休み時間の運動遊び ・体育学習の指導改善 ・近隣校との連携での体育的活動や行事開催	教職員評価アンケート達成 80%以上 児童・保護者評価アンケート 達成　80%以上	B	A	・近隣スポーツ公園、公園を活用した体育学習や休み時間の運動遊びを計画的に実施している。移動を含めた時間や用具運搬等の負担を考慮してより効果的な活用を模索する。 ・体育館が中心、スポーツ公園の活用等体育学習のより効果的な指導改善は必要である。 ・近隣校との連携、協力での水泳学習、体育大会練習等の体育的活動や運動会等の行事開催が工夫した形で実施できた。	A	・限られた状況で近隣の協力を得て、取り組まれていると思います。 ・体育大会等の実施がとても良かった。 ・校庭とプールが使えず"に苦労してると思います。 ・新校舎建設という限られた中で、できることはされていると思われる。	・より効果的な運用を模索する。また、プール借用は、来年度は新たな協力校のもとで実施予定である。
	読書科の更なる充実	○読書を通じた探究的な学びの充実 ・（読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等） ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実 ・区立図書館との連携	・生活・総合を中心とした探究的な学び ・読み聞かせなどの読書推進の取組 ・図書館司書・司書教諭を中心とした環境整備 ・区立図書館と連携した学年文庫の充実	教職員評価アンケート達成 80%以上 児童・保護者評価アンケート 達成　80%以上	B	B	・生活・総合を中心とした探究的な学びを展開中である。 ・図書館司書・司書教諭を中心とした環境整備を図っている。 ・区立図書館と連携し、学習内容に応じた学年文庫の充実が図られている。	A	・読み聞かせは継続していただいて、児童の読書につながるように取り組みを続けていただきたい。 ・タブレットの活用 ・環境は整っていると思われるので、あとは子供たち自身の問題だと思われる。	・安易なタブレット端末利用に負けない本の魅力を伝えていく。 ・生活・総合的な学習等を中心に探究的な学習を推進する。
			・体育館等を活用した積極的な取組の工夫、出前授業やゲストTチャーの招致と人材活用	児童・保護者評価アンケート 達成　80%以上	A	A	・都アスリート派遣によるパラリピアンやイリュージョン劇団や児童劇劇団・和太鼓、水道キャラバンや警察等の安全教室等ゲストティーチャー、都国際交流コンシェルジュでのフィリピン大使館員の招致と多様な人材活用が図れた。	A	・様々に取り組まれている。 ・ゲストティーチャーはとても良く児童の関心が広がる。	・今後も施設状況に応じた魅力ある教育的取り組みを計画実施していきたい。
特別支援教育の推進	共生社会の実現に向けた教育の推進	○個々の特性に応じた指導・支援の充実と「学校2020レガシー」による教育活動の継続 ・都オリンピック・パラリンピック教育レガシー・アワード校としての活動の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・オリンピアンやパラリンピアン等や関係者の招致と交流活動の実施 ・配慮を要する児童等の自立に向けた支援の家庭や関係諸機関との連携 ・復籍交流児童との直接・間節交流の実施 ・ひがこまルーム、多目的室等のエンカレッジルームの活用促進	教職員評価アンケート達成 90%以上	A	A	・都アスリート派遣による パラリピアンの招致で有意義な体験活動が実施できた。子供を笑顔にするプロジェクトでは、和太鼓や児童劇鑑賞を行った。また、パラバドミントンの世界選手権観戦も実施できた。 ・配慮を要する児童等の自立に向けた支援の家庭や関係諸機関との連携を適宜図っている。 ・復籍交流児童との直接・間節交流の実施 ・ひがこまルーム、多目的室等のエンカレッジルームの活用した個に応じた対応を図っている。	A	・多様な関りを取り組めており、継続していただきたいです。	・今後も施設状況に応じた魅力ある教育的取り組みを計画実施していきたい。 ・今後も配慮を要する児童等の自立に向けた支援の家庭や関係諸機関との連携を適宜図るとともに、ひがこまルーム、多目的室等のエンカレッジルームを活用した、個に応じた対応を図っていく。
	子供たちの健全育成	○子供たちの健全育成に向けた取組 ・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・ハイパーQUテストの実施・活用 ・チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・「江戸川っ子・家庭ルール」「ひがこまスタイル」の推進・定着（ハイパーQUテストの活用） ・関係諸機関との協力・連携	児童・保護者評価アンケート 達成　90%以上	B	B	・「ひがこまスタイル」の定着を図っているが、生活実態や児童意識調査からは課題も見られ、まだまだ不十分である。	B	民生・児童委員としての学校訪問の開催をお願いします。	・感染症対応や仮校舎生活の中で児童は己をよく律して生活できていると考えるが、生活スタンダードの更なる定着を図っていく。 ・制限ある仮校舎生活とあって、いじめやハイパーQUテスト等を活用し、関りの変化や荒れの兆候にも細心の注意を払っていく。
		○仮校舎での安全・安心な生活環境の整備	・生活時程表や災害時避難経路の変更 ・近隣公園の活用	教師・保護者評価アンケート 回収率達成　90%以上	B	A	・仮校舎に応じた生活時程表や災害時避難経路の変更を実施したが、避難経路に関しては、多様な避難経路からの脱出や近隣公園や近隣の大型駐車場への避難等実践的な体験が実施できた。	A	・実際の災害時のため再確認は必要。	・回収率については、信憑性やより広く声を聞き取る観点から今後も協力を呼び掛ける。
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	○教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・児童・教師・地域、保護者の3者からの学校関係者評価を年2回実施、分析、公表（保護者分） ・学校公開や各種行事でのアンケート実施と分析、改善	児童・教師・保護者評価アンケート 回収率達成　80%以上	B	B	・児童・教師・地域、保護者の3者からの学校関係者評価前期分を実施、分析し年度末に保護者に公表。 ・学校公開や各種行事でのアンケート実施と分析、その都度改善に向けて活用している。	A		・後期分は若干回収率が向上したが、まだまだ不十分である。情報提供システムの変更もあり、回収率については、信憑性やより広く声を聞き取る観点から今後も協力を呼び掛ける。 ・学校行事のweb配信や編集DVDは制限ある公開中には、大変好評だった。今後も業者と可能な方法を検討し提供を考えていきたい。
特色ある教育の展開	「学校における働き方改革プラン」	○「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施 ・学校経営支援を担う人材の導入 ・定時退勤日の導入	・学校経営支援を担う人材の導入と活用による職務軽減 ・勤務時間の管理と定時退勤日の導入	教職員評価アンケート達成 90%以上	B	B	・学校経営支援として副校長補佐やあsss等の人材を活用し、職務補助や役割分担等で職務軽減を図っている。 ・勤務時間の管理と定時退勤日の導入を実施している。	A		・行事の精選や内容の吟味を図っている。変化については保護者や地域等に周知し、理解をいただけるよう努めていく。
		感染症対応を十分に行いながら、資質・能力を明確にした指導計画の工夫と生活・総合的な学習を中心とした体験・経験の実施	・蓮田学習や地域産業を中心とした体験的学習の実施	教職員評価アンケート達成 90%以上	B	B	・蓮田学習に関しては、種植えや収穫等適切な時期があるために感染症状況に応じて十分な体験とはいえない。しかし、今回の収穫は多くの保護者の協力を得ることができ、大人にも特色と魅力を伝える機会となった。地域産業に関しては可能な範囲での体験的学習の実施できた。	A	・蓮田を体験できる児童、保護者を増やせるとよいと思いました。 ・「蓮田を守る会」の会合を予定してください。	・蓮田に限らず、随時体験的な学習機会を取り入れられるよう関係者等と調整していく。